

令和8年 湖西市議会9月定例会

市長あいさつ

令和8年9月1日

(はじめに)

おはようございます。

本日より、令和8年9月湖西市議会定例会が開催されるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

先ほど、黙とうを捧げました神谷里枝議員のご逝去（せいきょ）に際し、改めまして、生前のご功績を偲び、心から哀悼の意を表します。長きにわたり、市民の皆様の声を市政に届け、市政の発展に多大なるご貢献をいただきましたことに、深い敬意と感謝を申し上げます。

神谷議員のご逝去（せいきょ）は、誠に残念であり、深い悲しみを感じております。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

(相次ぐ災害への対応と防災)

続きまして、7月28日に発生した「令和8年熊本地震」、そして8月13日からの「令和8年8月千葉豪雨」では、大きな被害が発生しました。改めて、亡くなられた方々に心からお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様にお見舞いを申し上げ、一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

さて、本市におきましても、熊本地震の被災地への支援を進めております。人的支援として、総務省の要請により、静岡県が熊本市宇城（うき）市を支援することとなり、本市からも8月20日から28日まで一般職員1名を派遣し、被災自治体の支援に従事いたしました。

また、厚生労働省からの要請を受けた静岡県の派遣調整により、9月下旬に保健師1名を熊本市宇城（うき）市内へ派遣することが決定し、被災された方々の健康支援などに従事する予定です。さらに、給水活動についても、給水車による応援を申し出ております。

このほか、被災された方々の住まいを確保するため、市営の五田（ごた）住宅3戸を提供可能な住宅として報告しているほか、市役所及び「おぼと」に災害義援金の募金箱を設置しております。引き続き、被災地の状況や支援ニーズを確認しながら、本市としてできる支援を行ってまいります。

こうした災害を受け、改めて、災害はいつ、どこで発生するか分からないということを強く感じております。日頃から備え、実際に災害が発生した際に、一人ひとりがどのように行動するのかを具体的に考えておくことが重要です。

9月13日には、防災訓練を予定しております。市民の皆様、自主防災会、関係機関の皆様には、「実際に災害が起きたら、自分はどのよう行動するのか」という視点を持って、それぞれの立場で必要となる行動や備えを改めて確認する機会として、積極的にご参加いただきたいと思います。

相次ぐ災害を決して他人事とせず、引き続き、地域の防災力の向上と、災害に強いまちづ

くりに取り組んでまいります。

（官民共創）

次に、官民共創の取り組みについてご報告申し上げます。

6月定例会のあいさつでは、民間の活力との連携について申し上げましたが、そうした「官民連携」の考え方をさらに発展させた「官民共創」についてお話しさせていただきます。

「官民連携」は、行政と民間がそれぞれの役割を担い、協力して事業や課題解決に取り組むものです。一方、「官民共創」は、それぞれの強みや技術、ノウハウを持ち寄り、課題の解決方法を共に考え、新たな価値や仕組みを創り出していく取り組みです。

行政だけでは解決が難しい課題が増える中、民間企業や研究機関の技術や知見を活かし、共にチャレンジしていくことが重要だと考えております。その具体的な取り組みとして、環境分野における2つの実証事業についてご報告いたします。

1つ目は、「湖西市における持続可能な窒素管理の実現に向けた調査・検証事業」です。窒素循環の取り組みとして、地域の生活排水や家畜排せつ物から発生する窒素化合物を回収し、バイオ由来の肥料や化学工業薬品として有効活用するための技術開発と実証を進めます。

2つ目は、下水汚泥等を活用した「バイオガス利活用実証事業」です。

これまでの実証により、小規模な設備でも安定的にバイオガスを生成できることを確認してまいりました。今年度からは、生成したバイオガスから不純物を取り除き、バイオメタンとして自動車の燃料に利用する新たな実証に取り組めます。令和10年度までの3年間、車両燃料としての利用可能性や実用化に向けた課題などを検証し、下水汚泥等を地域のエネルギー資源として有効に活用することで、資源循環と脱炭素の両立を目指してまいります。

この2つの事業は、行政が実証の場を提供するだけでなく、民間企業や研究機関とともに、地域の課題や可能性を捉えるものです。それぞれが持つ技術や知見を組み合わせながら、新たな技術の活用方法や、地域で活用していくための仕組みを創り出していく、まさに「官民共創」の取り組みです。

引き続き、湖西市をフィールドとした官民共創による新たなチャレンジを、地域課題の解決や持続可能なまちづくりにつなげてまいります。

（市民サービスの向上（トビラフォンの導入））

続いて、市民サービスの向上についてです。

本日から、市役所の代表電話に自動音声ガイダンスを導入いたします。これまで代表電話にお電話いただいた際には、職員が用件を伺い、担当部署へお繋ぎしておりましたが、導入後は、音声ガイダンスに沿って選択していただくことで、担当部署へ直接お繋ぎいたします。また、市役所、健康福祉センター、中央図書館、新所子育て支援センターでは、

電話対応の品質向上とトラブル防止のため、通話内容を録音いたします。

今回の導入により、担当部署へのスムーズなご案内と、より適切な電話対応につなげてまいります。

今後も、こうした一つひとつの業務改善を積み重ねるとともに、業務の進め方を不断に見直し、市民の皆様にとって、より利用しやすく、より質の高い市民サービスの提供に取り組んでまいります。

（「暮らしやすさの向上」と「元気なまちの実現」）

次に、「暮らしやすさの向上」と「元気なまちの実現」に向けた取り組みについて申し上げます。

「暮らしやすさの向上」では、企業版ふるさと納税を活用し、株式会社ダイナム様からいただいたご寄附により、新所子育て支援センター「にこりん」にインクルーシブ遊具を設置いたしました。7月14日に設置を完了し、夏休みに入り、多くの子どもたちが新しい遊具で楽しむ姿が見られております。

今後も、子どもたちが安心して、のびのびと成長できる環境づくりを進めるとともに、企業版ふるさと納税をはじめとした多様な財源の確保にも積極的に取り組み、より効果的な施策の展開につなげてまいります。

また、「元気なまちの実現」に向けては、今年度から「食」をテーマとした湖西市のプロモーションに力を入れております。

その一環として、9月19日に開催する「第31回湖西おいでん祭」では、浜名湖うなぎ、豚肉、キャベツ、うずらの卵など、湖西市産の食材を使用したメニューを紹介するとともに、会場内を巡るキーワードラリーを実施いたします。

また、今回の「おいでん祭」では、吉本興業所属のお笑い芸人、「マーメイド」などにご出演いただき、ステージを盛り上げていただく予定です。「マーメイド」の田村境祐（たむら きょうすけ）さんは湖西市出身で、現在は大阪を拠点に活躍されています。私から田村さんに、ぜひ「おいでん祭」に出演していただきたいとお声掛けをさせていただき、今回、ご出演いただくこととなりました。

市内外から多くの皆様にお越しいただき、おいでん祭を楽しんでいただくとともに、湖西市の「食」をはじめとした本市の魅力を知っていただく機会にしていまいります。

（結び）

結びに、引き続き、「暮らしやすさの向上」と「元気なまちの実現」の両輪で、一つひとつの取り組みを着実に進め、魅力ある湖西市を次の世代へつないでまいります。

まだまだ厳しい暑さが続いております。市民の皆様、そして議員の皆様におかれましては、くれぐれも体調にご留意いただき、健やかにお過ごしいただきたいと思います。

本定例会には、令和7年度決算の認定をはじめ、条例の制定・改正、補正予算などの

議案 25 件を提出しております。

各議案につきましては、この後、提案理由をご説明申し上げますので、慎重にご審議いただき、ご議決賜りますようお願い申し上げ、開会にあたっての挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

以 上